

公益財団法人 徳島県スポーツ協会 会報

Tokushima
Sport
Association



トピックス 徳島県スポーツ協会新体制発足

目 次

あいさつ	1
「スポーツ王国とくしま」の実現に向けて	2
令和3年度公益財団法人徳島県スポーツ協会	
役員・評議員について	3
令和3年度 事業計画・予算	4
徳島県表彰	17

トピックス	
徳島県スポーツ協会新体制発足ほか	18
加盟団体だより	23
総合型地域スポーツクラブだより	26
少年団だより	27
国民体育大会第42回四国ブロック大会	33
令和3年度における御協賛のお願い	34

阿波銀行
小学生軟式野球選手権大会

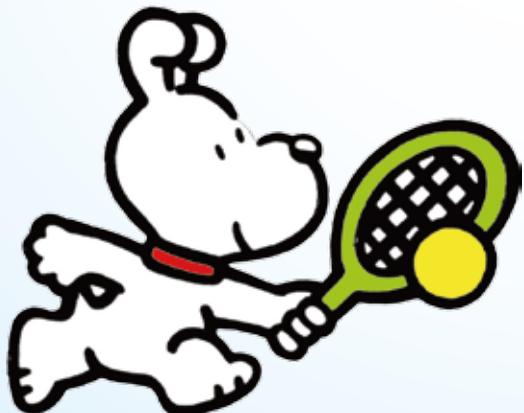


阿波銀行
少年サッカー選手権大会



あわぎんは
各種スポーツ大会を通じて
青少年の育成を
応援しています。

阿波銀行
ジュニアソフトテニス大会



阿波銀行
ミニバスケットボール選手権大会



© K-TSUKUDA + GREEN CAMEL

 阿波銀行
<https://www.awabank.co.jp/>

あ い さ つ

公益財団法人徳島県スポーツ協会 会長 柿 内 慎 市



日頃は、本協会の諸事業に対しまして、多大なる御支援、御協力を頂き、誠にありがとうございます。

この度、4月1日付けをもちまして、公益財団法人徳島県スポーツ協会会長に就任いたしました。

また、本協会は、4月から一般財団法人徳島県スポーツ振興財団と合併し、鳴門総合運動公園内に本拠地を移し、新たな体制で業務をスタートいたしました。

競技スポーツの推進役である本協会と、県立スポーツ施設の管理運営や生涯スポーツの振興を担う徳島県スポーツ振興財団が、両法人の強みを活かし共に協力しながら、本県スポーツの更なる普及・振興とスポーツによる地域活性化を目指して、役職員一同、精一杯取り組んでまいる所存です。

さて、今もなお猛威を振るう新型コロナウイルスは、全国的な感染拡大に歯止めがかからず、9月下旬に開催が予定されておりました「第76回国民体育大会（三重とくわか国体）」の中止が決定されました。

折しも、本県において4年に一度の四国ブロック大会が開催中であり、やむを得ない事とは言え、これまでトレーニングを積んでこられた選手や監督の皆様、準備に携わってこられた関係者のお気持ちを思うと心が痛みます。

こうした中、1年延期された「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開催され、どれほど多くの国民がテレビの前で釘付けとなり感動したことでしょう。多くの皆様が先の見えない不安を感じている今こそ、スポーツが持つ力を信じ、スポーツをする喜び、観る楽しみ、スポーツが与えてくれる感動が必要あります。本協会といたしましても、これらスポーツの持つ価値を改めて認識し、「W I T H コロナ時代」を徳島県と密に連携を図り、競技への強化対策や、国体において本県選手が充分な力を発揮できるための体制づくりを支援し、競技者が安心して競技に取り組める環境づくりを強く推進して参ります。更には、県民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現に取り組んで参りますので、皆様方には、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本県スポーツ界のさらなる発展、並びに本協会を暖かく支えていただいている関係の皆様方の、今後ますますの御健勝、御活躍を心よりお祈り申し上げ、御挨拶といたします。

「スポーツ王国とくしま」の実現に向けて

徳島県未来創生文化部長 上田輝明



日頃は、本県スポーツの振興に格別の御理解、御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、選手をはじめスポーツ関係者の「安全・安心」に取り組んでいただいていることにつきまして、心から感謝申し上げます。

さて、本県では、「競技力向上」、「生涯スポーツ社会の実現」、「国際スポーツ大会を契機としたレガシーの創出」による「スポーツ王国とくしま」の実現を目指し、「徳島県スポーツ推進計画」を推進しているところです。

まず、「競技力向上」については、一昨年行われた「第74回・いきいき茨城・ゆめ国体」では、天皇杯順位こそ残念ながら47位に終わりましたが、優勝が、「ウエイトリフティング」、「ライフル射撃」など、ここ10年では最も多い「9種目」となり、総合得点も「614点」と平成22年の「千葉国体」以来最も高い点数となるなど、競技力向上への取組の成果が着実に表れてきております。

引き続き、各競技団体の皆様方と連携し、「オリンピック選手輩出・国体飛躍プロジェクト」の中で、強化遠征や強化指定選手への助成、競技環境の整備などの強化事業に取り組んで参りたいと考えております。

次に、「生涯スポーツ社会の実現」については、すべての人が各自の興味や適性等に応じてスポーツを楽しむことができるよう、運動習慣の定着を促すイベントやスポーツをはじめるきっかけづくりとなる取組を実施しており、成人の週1回以上のスポーツ実施率は年々向上しています。

加えて、スポーツを「する」ことだけでなく、「みる」「ささえる」と様々な方向からスポーツに参画できるよう、地域スポーツの拠点となる「総合型地域スポーツクラブ」の育成・充実を図るとともに、すべての人がスポーツに親しめる健全な社会づくりを推進しております。

さらに、「国際スポーツ大会を契機としたレガシーの創出」に関しては、「東京2020オリンピック・パラリンピック」のホストタウンとして、「ドイツ」「ネパール」「ジョージア」3カ国選手団の事前キャンプを受け入れ、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた上で、オンラインを中心とした交流行事を実施し、多くの県民の皆様に、各国との国際交流や「ハンドボール」「カヌー」をはじめとする各競技の魅力を体感していただきました。

来年は、「新型コロナウイルス感染症」の影響で1年延期となった「ワールドマスターズゲームズ2021関西」が開催され、公式・オープン合わせて県内において12種目の競技が行われる予定です。

今後は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、国際スポーツ大会による「レガシー」を継承・発展し、本県における交流人口の拡大や地域活性化に取り組むとともに、競技力向上や生涯スポーツの振興など、スポーツのさらなる普及、振興に向けた施策について、しっかりと取り組んで参る所存あります。

結びになりますが、本県スポーツのより一層の普及、振興につきまして、皆様のなお一層の御支援、御尽力をお願いいたしますとともに、本県スポーツ関係者の皆様方のますますの御健勝、御活躍と、徳島県スポーツ協会の更なる御発展を心より祈念いたしまして、発刊に寄せる言葉といたします。

公益財団法人徳島県スポーツ協会役員・評議員について

(公財)徳島県スポーツ協会の役員等の任期は、本協会の定款により、理事は2年間、監事・評議員は4年間と定められております。令和3年度の役員等につきましては、理事は昨年5月に改選されたところであり、任期途中ですがこのたび機構改革に伴い、3名の評議員・6名の理事から3月31日をもって退任する旨の届出が提出されました。それを受け、令和3年4月1日付で、それぞれ後任が選任され、さらに、1名の監事が選任され、新たに就任しました。

また、2名の評議員から定時評議員会をもって退任する旨の届出が提出され、6月18日の評議員選定委員会において後任が選定され、定時評議員会の6月22日より、新たに就任しました。

退任者、新任者は次のとおりです。

なお、このたび退任された役員等の皆様方には、これまで、多年にわたり、本協会の発展に多大のご貢献をいただき、深く感謝申し上げます。

○退任者(敬称略)

・理事長	飯泉嘉門	徳島県知事
・理事副会長	柿内慎市	株式会社徳島大正銀行取締役会長
・理事	藤井敬久 松本光裕 丸山隆志 吉岡直彦	徳島県高等学校体育連盟会長 前徳島県国際スポーツ局スポーツ振興課長 四国放送株式会社取締役総務局長 徳島県教育委員会体育学校安全課長
・評議員	伊藤大輔 木下慎次 榎浩一 谷川健二 安田哲也	前徳島県未来創生文化部国際スポーツ局長 旧一般財団法人徳島県スポーツ振興財団理事長 徳島県教育委員会教育長 前徳島県中学校体育連盟会長 前徳島県小学校体育連盟会長

○新任者(敬称略)

・理事長	柿内慎市	株式会社徳島大正銀行取締役会長
・理事長	飯泉嘉門	徳島県知事
・副理事長	木下慎次	公益財団法人徳島県スポーツ協会
・常務理事	平島一男 仁木芳宏	公益財団法人徳島県スポーツ協会 公益財団法人徳島県スポーツ協会
・理事	佐竹昌之	一般財団法人徳島陸上競技協会会长
・監事	組橋正人	元徳島県スポーツ少年団本部長
・評議員	大坂真智子 岡山千賀子 小谷敏弘 藤井敬久 元木啓之 横田勝	徳島県女子体育連盟会長 NPO法人徳島県レクリエーション協会会长 徳島県障がい者スポーツ協会会长 徳島県高等学校体育連盟会長 徳島県小学校体育連盟会長 徳島県中学校体育連盟会長

令和3年度 事業計画・予算

I 基本方針

昨年我が国は、世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、様々なスポーツ大会やスポーツイベントが中止や延期を余儀なくされたが、日本スポーツ協会や各中央競技団体が策定したガイドラインに基づく感染防止対策を徹底するなどして、「新たな生活様式」によるスポーツ活動が再開されつつある。

こうした中、昨年12月、徳島ヴォルティスが地元ポカリスエットスタジアムにおいて「7季ぶりのJ1復帰」を果たし、県民に大きな勇気と感動を与える出来事となったことは記憶に新しく、改めてスポーツの持つ力の大きさが実感された。

本年は、1年延期となった「東京2020オリンピック・パラリンピック」がいよいよ開催される記念すべき年にあたり、このような節目の年に、本協会は、県立スポーツ施設の管理運営や生涯スポーツの振興を担う一般財団法人徳島県スポーツ振興財団と統合し、本県スポーツの更なる普及・振興に向け、ハード・ソフト両面にわたる施策を一体的に推進する組織として新たなスタートを切ることになった。

令和3年度においては、新たな組織体制の下、以下の方針に基づき、スポーツの力で地域に活力をもたらすべく、両法人の強みを活かした事業を積極的に展開する。

1 競技スポーツの推進

各競技団体及び関係団体と連携し、競技力向上及び各種全国大会で活躍するトップアスリートやオリンピックを目指す選手の育成を図り、また、ドーピング防止教育や、スポーツドクター・トレーナー等の協力を得て、競技環境・体制を整える。

これら連携した事業を実施し、国民体育大会天皇杯順位の向上を図る。

2 スポーツ指導者の育成

スポーツ指導者は競技力向上やスポーツ少年団育成の要であり、講習会の開催や研修会への派遣により養成と資質の向上を図る。

3 スポーツ少年団の育成

スポーツ少年団の育成と活動の促進を図り、次代を担う有為な青少年の育成に寄与する。

4 生涯スポーツの普及推進及び活動支援

地域における生涯スポーツの担い手である総合型地域スポーツクラブに対し、徳島県広域スポーツセンターにおいて、徳島県の委託に基づき運営等に係る支援を行うとともに、「登録・認証制度」の円滑な導入に向けた調整を行う。

また、総合型地域スポーツクラブを拠点とした障がい者スポーツの普及・拡大を図る。

5 広報・顕彰活動

ホームページや会報は、本協会の情報発信の重要な手段であり、より利用しやすく、魅力あるホームページ、紙面作りに努める。

6 スポーツ施設の管理・運営

徳島県から指定管理者として指定を受けた、徳島県蔵本公園スポーツ施設、徳島県鳴門総合運動公園スポーツ施設及び徳島県立中央武道館について、利用者に対し公平・公正で質の高いサービスを提供するとともに、効率的で効果的な維持管理を行うことで施設の長寿命化を図る。

7 健康運動教室の開催

スポーツ施設を有効活用し、子どもから高齢者まで幅広い層が気軽に楽しむことができるよう、豊富なメニューの健康運動教室を安価に提供するとともに、専門的な知識を有するスポーツコーディネーターを講師に起用するなど、合併の効果を活かして魅力ある教室運営を行う。

II 主要事業の概要

【公益目的事業】

1 競技スポーツ推進事業（113,294千円）

(1) 国民体育大会支援事業（43,903千円）

第76回国民体育大会「三重とこわか国体」及び第77回国民体育大会冬季大会「いちご一會とちぎ国体」

「美の国あきた鹿角国体2022」へ徳島県選手団を派遣するとともに派遣に要する経費について助成する。

また、今年度は幹事県として、国民体育大会第42回四国ブロック大会を開催する。

No.	事業 内 容	令和 月	日	曜日	～	令和 月	日	曜日	場 所
1	国民体育大会への派遣								
	(1)第76回会期前（水泳・体操・レスリング）	3	9	4	土	～	3	9	14
	(2)第76回会期前（柔道）	3	9	18	土	～	3	9	20
	(3)第76回本大会	3	9	25	土	～	3	10	5
	(4)第77回冬季大会スケート・アイスホッケー競技会	4	1	24	月	～	4	1	30
	(5)第77回冬季大会スキー競技会	4	2	17	木	～	4	2	20
2	国民体育大会第42回四国ブロック大会の開催	3	6	中旬		～	3	8	下旬
									徳島県他

(2) 競技スポーツ重点強化対策事業（66,577千円）

スポーツコーディネーターを、学校・競技団体等に派遣し、指導及び相談、助言等を行う。

その他、関係団体と連携し、競技力向上のための強化対策を推進し、国民体育大会四国ブロック大会の突破率の向上、国民体育大会での更なる躍進を目指す。

(3) スポーツ科学振興事業（755千円）

日本スポーツ協会から委託を受けたドーピング防止に関する事業、また、検診事業を行う。

No.	事業 内 容	令和 月	日	曜日	～	令和 月	日	曜日	場 所
1	少年スポーツ（野球・サッカー）検診事業	3	7	上旬		～	3	8	下旬
2	国体選手を中心としたアンチ・ドーピング教育・啓発事業	3	9	中旬		・	4	1	中旬
3	アンチ・ドーピング定期研修会	3	7	上旬		・	4	2	下旬
									東京都：国立スポーツ科学センター等

(4) 大会等選手激励事業 (2,059千円)

国民体育大会に係る結団式や報告会、各種の激励訪問等を行う。

No.	事業内容	令和月日曜日～	令和月日曜日	場所
1	選手等の激励			
	(1)国民体育大会結団式			
	①第76回本大会（認定証交付）	3 9 中旬		未定
	②第77回冬季大会（認定証交付）	4 1 中旬		未定
	(2)国民体育大会			
	①第42回四国ブロック大会	3 6 中旬	～ 3 8 下旬	徳島県他
	②第76回会期前（水泳・体操・レスリング）	3 9 4 土	～ 3 9 14 火	三重県
	③第76回会期前（柔道）	3 9 18 土	～ 3 9 20 月	三重県
	④第76回本大会	3 9 25 土	～ 3 10 5 火	三重県
	⑤第77回冬季大会スケート・アイスホッケー競技会	4 1 24 月	～ 4 1 30 日	栃木県
	⑥第77回冬季大会スキー競技会	4 2 17 木	～ 4 2 20 日	秋田県
	(3)国際大会出場者			
2	国民体育大会入賞者表彰（兼国体報告会）	3 11 下旬		未定

2 スポーツ指導者育成事業 (1,673千円)

スポーツ指導者の育成に関する研修会を開催するとともに、全国会議や研修会へ指導者を派遣する。

No.	事業内容	令和月日曜日～	令和月日曜日	場所
1	指導体制の整備と活動の促進			
	(1)公認スポーツ指導者事務担当者会議	3 5 中旬	～ 3 5	東京都※オンライン併用
	(2)全国スポーツ指導者連絡会議（幹事会）	3 未定	・ 3 未定	東京都※オンライン併用
	(3)公認スポーツ指導者全国研修会	3 12 上旬	～ 3 12	東京都※オンライン併用
	(4)公認アスレティックトレーナー連絡会議	3 12 上旬	～ 3 12	東京都※オンライン併用
	(5)公認スポーツドクター代表者協議会	4 3 上旬		東京都※オンライン併用
2	公認スポーツ指導者の養成・研修			
	(1)公認コーチ1養成講習会	3 6 1 火	～ 4 1 31 月	独自開催 バレー・ボール、空手道、トライアスロン
	(2)指導者資格取得補助事業	3 6 1 火	～ 4 1 31 月	全国
	(3)コーチデベロッパー養成講習会	3 10 上旬	～ 3 12 上旬	東京都：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
	(4)徳島県スポーツ指導者研修会	4 2 5 土	・ 12 土	あわぎんホール

3 青少年スポーツ育成事業 (7,276千円)

全国・四国ブロックの各種研修会等に指導者やリーダーを派遣するとともに、スタートコーチ養成講習会やジュニア・リーダースクールを開催し、指導者の養成、リーダーの育成に努める。

また、交流大会の開催及び派遣では、日独同時交流事業や四国ブロック交流大会へのチームの派遣や県内交流大会を開催する。

No.	事業内容	令和月日曜日～	令和月日曜日	場所
1	組織整備の強化・充実			
	(1)日本スポーツ少年団関係			
	①都道府県事務担当者会議	3 6 上旬		東京都：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
	②委員総会（2回）	3 5 29 土	・ 4 2 26 土	東京都：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
	③全国指導者協議会	3 6 12 土		東京都※オンライン併用
	④中国・四国ブロック会議	3 2 上旬	～ 3 2	高知県：未定

No.	事業内容	令和月日	曜日	～	令和月日	曜日	場所
1	(2)四国ブロックスポーツ少年団関係						
	①連絡会議	3 5	中旬	～	4 2	上旬	高知県
	②指導者連絡協議会	3 5	中旬	～	4 2	上旬	高知県
	(3)徳島県スポーツ少年団関係						
	①本部委員会	3 9	中旬	～	4 3	中旬	未定
	②指導者協議会	3 9	中旬				未定
	③市町村事務担当者会議	4 3	中旬				未定
2	指導者の養成・研修						
	(1)アクティブ・チャイルド・プログラム (ACP)						
	①普及促進	3 4 1	木	～	4 2 28	月	委託30コース
	②講師講習会	3 5	上旬	～	4 2	下旬	全国3会場(2日間)
	③プラスアップセミナー(講師講習会受講修了者対象)	3 5	上旬	～	4 2	下旬	全国3会場(1日)
	(2)第4回ジュニアスポーツフォーラム	3 6 13	日				東京都※オンライン併用
	(3)スタートコーチインストラクター						
	①移行研修会	3 10	上旬	～	3 11	下旬	全国7会場(1日)
	②養成講習会	3 10	上旬	～	3 11	下旬	大阪府:(2日間)
	(4)四国ブロック指導者研究協議会	3 12 4	土	～	3 12 5	日	高知県:高知会館
	(5)スタートコーチ養成講習会	3 12 5	日				あわぎんホール
3	リーダーの養成・研修						
	(1)徳島県リーダー会	3 4 1	木	～	4 3 31	木	総会1回、定例会6回、イベント1回
	(2)全国リーダー連絡会	3 6 12	土	～	3 6 13	日	オンライン開催
	(3)ジュニア・リーダースクール						
	①南部コース	3 8 29	日	～	3 11 21	日	那賀川スポーツセンター他
	②県央コース	3 9 5	日	～	3 11 21	日	吉野川市民プラザ他
	(4)シニア・リーダースクール	3 8	中旬				オンライン開催
	(5)四国ブロックリーダー研究大会	3 11 20	土	～	3 11 21	日	高知県:県立青少年センター
4	国際交流の派遣及び受入等						
	(1)日独ユースキャンプ						
	①事前研修会	3 5 15	土	～	3 5 16	日	東京都:JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
	②本県団員の派遣	3 7 22	木	～	3 8 5	木	埼玉県:スポーツ総合センター
	(2)第49回日独同時交流						
	派遣団員推薦に係る選考委員会	4 2 11	金				徳島グランヴィリオホテル
5	交流大会の派遣及び開催						
	(1)全国大会						
	①スポーツ少年大会(第59回)	3 9 18	土	～	3 9 20	月	東京都:未定
	②軟式野球(第43回)	3 8 13	金	～	3 8 16	月	沖縄県:未定
	③剣道(第44回)	4 3 26	土	～	4 3 28	月	高知県:県立青少年センター
	④バレーボール(第19回)	4 3 27	日	～	4 3 30	水	島根県:未定
	(2)四国ブロック大会						
	①軟式野球(全国予選)	3 6 26	土	～	3 6 27	日	徳島県:阿波市民球場他
	②サッカー	3 7 10	土	～	3 7 11	日	香川県:三豊市緑ヶ丘サッカー場
	③スポーツ少年大会	3 7 18	日				愛媛県:モンベルアウトドアオアシス石鎚他
	④フリー種目(バレーボール)	3 7 31	土				愛媛県:伊予市民体育館
	⑤ミニバスケットボール	3 10 23	土	～	3 10 24	日	高知県:県民体育館
	(3)県内大会						
	①軟式野球	3 4 18	日	～	3 6 6	日	オロナミンC球場他
	②サッカー	3 5 8	土	～	3 5 29	土	徳島市球技場
	③剣道	3 12 5	日				鳴門・大塚スポーツパーク
	④卓球	4 1 8	土				徳島市B&G海洋センター
	⑤バレーボール	4 2 11	金				藍住町町民体育館他

4 スポーツ普及・振興事業（17,718千円）

(1) スポーツ活動支援事業（1,974千円）

① とくしまスポーツ活性計画助成事業の支援

Love & Fanとくしまスポーツ活性計画事業を支援する。

② 加盟団体への活動推進支援

生涯スポーツの普及に努める加盟団体の活動に対し助成を行う。

③ 日本スポーツマスターズ2021の支援

(2) 総合型地域スポーツクラブ普及・育成・支援事業（12,331千円）

徳島県スポーツ推進計画に基づき、総合型地域スポーツクラブが自主的・主体的な活動ができるよう支援するとともに、徳島県から委託を受け運営基盤の強化を図るための各種事業を実施する。

① 総合型地域スポーツクラブ強化事業『スポーツクリエイト推進事業』

(ア) 登録・認証制度整備事業

令和4年度から導入が予定されている「登録・認証制度」の円滑な運用に向け、県内総合型スポーツクラブや市町村行政担当者を対象に巡回指導や助言を行う。

(イ) クラブマネジメント力向上事業

総合型地域スポーツクラブが提供するプログラムの充実や会員等へのサービス向上のため、運営スタッフやクラブマネージャー等を対象に研修会を開催する。

(ウ) クラブプログラム充実支援事業

総合型地域スポーツクラブが提供するプログラムの充実や指導方法等を向上させるため、健康運動指導士やスポーツ・レクリエーション指導者等の有資格者を各クラブに派遣し、実地に研修を行う。

(エ) クラブ間ネットワーク強化事業

県内の総合型地域スポーツクラブ36団体を、県西部・県中央部・県南部の3圏域に分け、エリアごとにネットワークを構築し、相互に情報交換をしながら広域での連携体制や課題解決を目指すための研修会や交流事業を実施する。

② 地域スポーツ推進力向上事業『スポーツクリエイト推進事業』

(ア) スポーツサポーター育成活用促進事業

災害時の運動支援や介護施設等での認知症予防、障がい者に対する運動支援など様々な分野において、スポーツを通じてそれぞれの課題解決を図るために、スポーツ指導の経験を持ち各分野の専門的知識を有する人材を「スポーツサポーター」として養成し、研修会を開催することで資質の向上を図るとともに、イベントや講演会の講師等としての活躍を促進する。

(イ) 地域スポーツコーディネーター育成モデル事業

総合型地域スポーツクラブに対し、地域活性化をテーマとした提案型の事業を委託することで、観光・交流の促進などスポーツを通じた地域課題の解決に向け、学校や行政、企業等と連携しながら事業をコーディネートができる人材の育成を目指す。

(ウ) スポーツSDGs推進事業

総合型地域スポーツクラブ等を舞台に、健康寿命の延伸や幼児期の運動遊び、スポーツボランティアの育成などをテーマとした事業を実施することにより、スポーツを通じた「SDGs」の達成に向け地域と連携した取り組みを推進する。

(3) 共創共楽スポーツ推進事業（610千円）

徳島県からの委託により、総合型地域スポーツクラブを拠点に、障がい者のスポーツ機会の拡大や障がい者スポーツの普及を目的としたセミナーや体験会を実施し、地域における様々な関係機関との連携体制を「共に創り」、身近な場所でスポーツを「共に楽しむ」ことができるよう環境整備を行う。

(4) 競技スポーツ普及促進事業（2,803千円）

当協会が管理する施設を活用し、外部の専門講師や当協会の人材により、主として若年層に対し専門的な指導を行うことで、競技人口の拡大を図るとともに競技力の向上に資する。

ジュニアフェンシング教室	(鳴門・大塚スポーツパーク)
少年剣道教室	(鳴門・大塚スポーツパーク)
弓道教室	(鳴門・大塚スポーツパーク)
テニス教室（ジュニア、初心者、経験者の3コース）	(むつみパーク蔵本)
すもう教室	(むつみパーク蔵本)
とくしまマラソン応援講座（中級者対象）	(鳴門・大塚スポーツパーク)

5 広報・顕彰事業（2,404千円）

(1) 広報活動事業（1,009千円）

年2回の会報誌の発行や、年間を通じホームページでの広報を行う。

(2) 顕彰事業（1,395千円）

徳島県のスポーツ振興に功労のあった者や全国大会入賞者等を顕彰するための表彰式を実施する。

No.	事 業 内 容	令和 月 日 曜日	～	令和 月 日 曜日	場 所
1	徳島県スポーツ協会表彰式の実施	4 2 11 祝			徳島グランヴィリオホテル

6 指定管理受託事業（435,568千円）

(1) スポーツ施設の管理運営

当協会は次のスポーツ施設の管理運営に関し、令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間、徳島県から指定管理者として指定を受け、「安全で安心して利用できる施設」「利用者の視点に立ったサービスの提供」「コスト意識の重視」等を目標に掲げ、基本協定に基づき適正な管理運営を行う。

○徳島県蔵本公園（むつみパーク蔵本）スポーツ施設

施設の名称：野球場（むつみスタジアム）、相撲場、庭球場（むつみセンターコート）、
プール（むつみスイミング）

○徳島県鳴門総合運動公園（鳴門・大塚スポーツパーク）スポーツ施設

施設の名称：体育館（アミノバリューホール）、野球場（オロナミンC球場）、
弓道場、陸上競技場（ポカリスエットスタジアム）、第二陸上競技場、集会所、
庭球場、武道館（ソイジョイ武道館）、球技場、相撲場

○徳島県立中央武道館

施設の名称：柔道場、剣道場、弓道場

(2) スポーツ普及のための健康教室の開催

各スポーツ施設を利用したスポーツの普及振興及び健康の保持増進のため、当協会が有する人材やノウハウを活かして、幅広い年齢層を対象に安価で魅力ある健康運動教室を提供する。

○徳島県蔵本公園（むつみパーク蔵本）

椅子を使ってハツラツ体操教室	対象：65歳以上（10名）
ZUMBAゴールド	対象：40歳以上（20名）
生活習慣病予防教室	対象：40歳以上（20名）
ちょこっとダンス	対象：18歳以上（25名）
生き生き筋活教室（初級）	対象：18歳以上（20名）
生き生き筋活教室（中級）	対象：18歳以上（20名）
楽しくシェイプアップ	対象：18歳以上（15名）
ジムで健康運動教室	対象：18歳以上（15名）
チャレンジスポーツ	対象：18歳以上（15名）
ビジョンヨガ	対象：18歳以上（20名）
バウンドテニス教室	対象：18歳以上（15名）
Reborn体幹入門A	対象：18歳以上（10名）
Reborn体幹入門B	対象：18歳以上（10名）
美姿勢ピラティス	対象：18歳以上（20名）
楽しくピンポン	対象：18歳以上（20名）
スポンジテニス教室	対象：18歳以上（20名）
キッズ・ベーシック・イングリッシュ	対象：小学3・4年生（10名）
ジュニアスポーツ教室	対象：小学1・2年生（15名）
わんぱく運動教室（4・5歳児）	対象：4・5歳児（15名）
親子うんどう教室	対象：2・3歳児と保護者（10組）

○徳島県鳴門総合運動公園（鳴門・大塚スポーツパーク）

ウェルCOME！長寿教室	対象：65歳以上（25名）
ロコモ予防教室	対象：65歳以上（25名）
ハツラツ健康教室	対象：65歳以上（35名）
ジムで健活！教室	対象：50～60代（10名）
生活習慣病予防教室	対象：40歳以上（25名）
生き生き筋活教室	対象：18歳以上（25名）
パワーヨガでフィットネス	対象：18歳以上（25名）
燃焼系格闘技エクササイズ教室	対象：18歳以上（25名）
スポンジテニス教室（初級コース）	対象：18歳以上（12名）
スポンジテニス教室A（ゲームコース）	対象：18歳以上（12名）
スポンジテニス教室B（ゲームコース）	対象：18歳以上（12名）
脱メタボ・ヨガ教室	対象：18歳以上の女性（25名）
Reborn体幹入門A	対象：18歳以上初心者（10名）
Reborn体幹入門B	対象：18歳以上初心者（10名）

楽しく！レクリエーション教室	対象：18歳以上（25名）
のびのびストレッチ教室	対象：18歳以上（25名）
働く大人のフィットネス	対象：18～65歳（20名）
ジュニアスポーツ教室（3・4年）	対象：小学3・4年生（20名）
ジュニアスポーツ教室（1・2年）	対象：小学1・2年生（20名）
わんぱくうんどう教室（5歳児）	対象：5歳児（20名）
親子うんどう教室（4歳児）	対象：4歳児と保護者（20組）

○徳島県立中央武道館

高齢剣道教室	対象：60歳以上経験者（25名）
太極拳教室	対象：18歳以上（15名）
リスタート弓道教室	対象：18歳以上経験者（20名）
ハツラツ筋活教室	対象：18歳以上（25名）
ピラティス教室	対象：18歳以上（15名）

(3) 地域活性化推進事業

総合型地域スポーツクラブを中心とした地域の連携を図り、健康寿命の延伸やスポーツ実施率の向上等、地域の課題解決に資する取り組みや、地域に育つアスリートの支援をすることで、スポーツの普及に資する。

【収益事業】

7 売店等運営事業（102千円）

本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業として、また施設利用者の利便性向上のため、売店及び自動販売機等の適切な設置運営を行う。

【法人運営】

8 法人経営（16,751千円）

スポーツ振興財団との合併に伴い、新たに拡充された組織体制の下、評議員会及び理事会の適時・適切な開催をはじめとする円滑な法人運営を行うことで、公正かつ安定的な経営を確保する。

また、事業推進には安定した財政基盤が必要であり、関係機関・企業等に対し、本会の事業の重要性について理解を得て寄附を募るほか、賛助会員制度や収益事業による自主財源の確保と、効率的な事業執行による経費節減に努める。

予算書（正味財産増減予算）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	12,000	12,000	0	
基本財産受取利息	12,000	12,000	0	令和3年度基本金利息（定期預金）
②受取会費	5,290,000	5,260,000	30,000	
加盟団体会費	4,260,000	4,230,000	30,000	10万×9競技・9万×10競技・6万×11競技・ 3万×26競技 8万×1市・5万×10市町・2万×13町村 3万×1（小体連）・6万×1（中体連） 9万×1（高体連）
賛助会員会費	1,030,000	1,030,000	0	
③受取登録料	958,000	1,158,000	△ 200,000	
スポーツ少年団登録料	958,000	1,158,000	△ 200,000	
④事業収益	468,022,000	18,930,000	449,092,000	
受取徳島県受託収益	467,292,000	18,200,000	449,092,000	スポーツコーディネーター活用事業 25,600,000 総合型地域S C普及・育成・支援事業 11,851,000 共創共楽スポーツ推進事業 610,000 指定管理受託事業 429,231,000
受取日本スポーツ協会受託収益	730,000	730,000	0	国体選手を中心としたドーピング防止教育・啓発事業 200,000 公認指導員養成講習会 400,000 県スポーツ指導者研修会 130,000
⑤受取補助金等	81,229,000	101,112,000	△ 19,883,000	
受取県費補助金	75,111,000	98,694,000	△ 23,583,000	国体派遣事業（三重県他） 30,974,000 国体四国ブロック大会開催事業 5,287,000 競技スポーツ重点強化対策事業 38,650,000 スポーツ少年団日独同時交流事業 200,000
受取日本スポーツ協会助成金	6,118,000	2,418,000	3,700,000	国体四国ブロック大会開催事業 4,500,000 スポーツ少年団組織整備費 1,218,000 四国ブロックスポーツ少年団交流大会（軟式野球） 400,000
⑥受取負担金	21,760,000	14,162,000	7,598,000	
受取負担金	21,760,000	14,162,000	7,598,000	ジュニアリーダースクール・講習会・教室等参加者負担金
⑦受取寄付金	11,770,000	12,870,000	△ 1,100,000	
受取寄付金	11,700,000	12,870,000	△ 1,100,000	
⑧雑収益	6,249,000	106,000	6,143,000	
受取利息	1,000	1,000	0	
雑収益	6,248,000	105,000	6,143,000	
経常収益計	595,290,000	153,610,000	441,680,000	

科 目	当 年 度	前 年 度	增 減	備 考
(2) 経常費用				
①事業費				
給料手当	174,470,000	42,927,000	131,543,000	
臨時雇賃金	30,385,000	0	30,385,000	
退職給付費用	9,816,000	1,440,000	8,376,000	
福利厚生費	32,391,000	9,493,000	22,898,000	
會議費	321,000	271,000	50,000	
旅費交通費	37,853,000	65,612,000	△ 27,759,000	
通信運搬費	4,420,000	1,560,000	2,860,000	
減価償却費	1,821,000	0	1,821,000	
消耗品費	15,902,000	3,257,000	12,645,000	
原材料費	5,500,000	0	5,500,000	
修繕費	75,000,000	0	75,000,000	
印刷製本費	1,616,000	1,306,000	310,000	
燃料費	3,000,000	0	3,000,000	
光熱水費	56,256,000	0	56,256,000	
賃借料	6,439,000	3,091,000	3,348,000	
保険料	1,110,000	449,000	661,000	
諸謝金	9,864,000	903,000	8,961,000	
租税公課	19,594,000	682,000	18,912,000	
支払負担金	5,074,000	5,171,000	△ 97,000	
支払助成金	10,180,000	2,540,000	7,640,000	
委託費	67,007,000	880,000	66,127,000	
激励金	380,000	380,000	0	
報奨金	690,000	690,000	0	
支払手数料	8,416,000	124,000	8,292,000	
施設使用料	41,000	21,000	20,000	
雑費	489,000	543,000	△ 54,000	
事業費計	578,035,000	141,340,000	436,695,000	
②管理費				
給与手当	9,972,000	7,848,000	2,124,000	
退職給付費用	480,000	480,000	0	
福利厚生費	1,384,000	1,388,000	△ 4,000	
會議費	755,000	755,000	0	
旅費交通費	432,000	400,000	32,000	
通信運搬費	196,000	221,000	△ 25,000	
減価償却費	2,000	4,000	△ 2,000	
消耗什器備品費	30,000	30,000	0	
消耗品費	50,000	50,000	0	
印刷製本費	490,000	380,000	110,000	
光熱水料費	240,000	240,000	0	
賃借料	1,446,000	1,446,000	0	
支払負担金	774,000	774,000	0	
支払手数料	100,000	100,000	0	
雑費	400,000	400,000	0	
管理費計	16,751,000	14,516,000	2,235,000	
経常費用計	594,786,000	155,856,000	438,930,000	
当期経常増減額	504,000	△ 2,246,000	2,750,000	

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	504,000	0	504,000	
法人税、住民税及び事業税	296,000	0	296,000	
当期一般正味財産増減額	208,000	△ 2,246,000	2,454,000	
一般正味財産期首残高	278,020,034	139,043,373	138,976,661	
一般正味財産期末残高	278,228,034	136,797,373	141,430,661	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	278,228,034	136,797,373	141,430,661	

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

公益財団法人 徳島県スポーツ協会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計 公1 スポーツ推進事業	収益事業等会計	法 人 会 計	内部取引消去	【共 通】	合 計
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	(0)	(0)	(12,000)	(0)	(0)	(12,000)
基本財産受取利息	0		12,000			12,000
受取会費	(1,000,000)	(0)	(4,290,000)	(0)	(0)	(5,290,000)
加盟団体会費	0		4,260,000			4,260,000
賛助会費	1,000,000		30,000			1,030,000
受取登録料	(958,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(958,000)
スポーツ少年団登録料	958,000					958,000
事業収益	(468,022,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(468,022,000)
受取徳島県受託収益	467,292,000					467,292,000
受取日本スポーツ協会受託収益	730,000					730,000
受取補助金	(81,229,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(81,229,000)
受取徳島県補助金	75,111,000					75,111,000
受取日本スポーツ協会補助金	6,118,000					6,118,000
受取負担金	(17,247,000)	(0)	(4,513,000)	(0)	(0)	(21,760,000)
受取負担金	17,247,000		4,513,000			21,760,000
受取寄付金	(770,000)	(0)	(11,000,000)	(0)	(0)	(11,770,000)
受取寄付金	770,000		11,000,000			11,770,000
雑収益	(0)	(6,248,000)	(1,000)	(0)	(0)	(6,249,000)
受取利息	0		1,000			1,000
雑収益	0	6,248,000				6,248,000
経常収益計	569,226,000	6,248,000	19,816,000	0	0	595,290,000
(2) 経常費用						
事業費	(577,933,000)	(102,000)	(0)	(0)	(0)	(578,035,000)
給料手当	174,470,000					174,470,000
臨時雇賃金	30,385,000					30,385,000
退職給付費用	9,816,000					9,816,000
福利厚生費	32,391,000					32,391,000
会議費	321,000					321,000
旅費交通費	37,853,000					37,853,000
通信運搬費	4,420,000					4,420,000
減価償却費	1,821,000					1,821,000
消耗品費	15,902,000					15,902,000
原材料費	5,500,000					5,500,000
修繕費	75,000,000					75,000,000
印刷製本費	1,616,000					1,616,000
燃料費	3,000,000					3,000,000
光熱水費	56,256,000					56,256,000
賃借料	6,337,000	102,000				6,439,000
保険料	1,110,000					1,110,000
諸謝金	9,864,000					9,864,000
租税公課	19,594,000					19,594,000
支払負担金	5,074,000					5,074,000
支払助成金	10,180,000					10,180,000
委託費	67,007,000					67,007,000
激励金	380,000					380,000
報奨金	690,000					690,000
支払手数料	8,416,000					8,416,000
施設使用料	41,000					41,000
雑費	489,000					489,000

科 目	公益目的事業会計 公1 スポーツ推進事業	収益事業等会計	法 人 会 計	内部取引消去	【共 通】	合 计
管理費	(0)	(0)	(16,751,000)	(0)	(0)	(16,751,000)
給料手当			9,972,000			9,972,000
退職給付費用			480,000			480,000
福利厚生費			1,384,000			1,384,000
会議費			755,000			755,000
旅費交通費			432,000			432,000
通信運搬費			196,000			196,000
減価償却費			2,000			2,000
消耗什器備品費			30,000			30,000
消耗品費			50,000			50,000
印刷製本費			490,000			490,000
光熱水料費			240,000			240,000
賃借料			1,446,000			1,446,000
支払負担金			774,000			774,000
支払手数料			100,000			100,000
雑費			400,000			400,000
経常費用計	577,933,000	102,000	16,751,000	0	0	594,786,000
当期経常増減額	△ 8,707,000	6,146,000	3,065,000	0	0	504,000
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計						0
(2) 経常外費用						0
経常外費用計						0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	6,071,489	△ 3,071,489	△ 3,000,000	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,635,511	3,074,511	65,000	0	0	504,000
法人税、住民税及び事業税	0	296,000	0	0	0	296,000
当期一般正味財産増減額	△ 2,635,511	2,778,511	65,000	0	0	208,000
一般正味財産期首残高	127,254,319	0	150,765,715	0	0	278,020,034
一般正味財産期末残高	124,618,808	2,778,511	150,830,715	0	0	278,228,034
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額						0
指定正味財産期首残高						0
指定正味財産期末残高						0
III 正味財産期末残高	124,618,808	2,778,511	150,830,715	0	0	278,228,034

徳島県表彰受賞者

社会福祉活動や保健衛生、産業、教育・文化などの各分野で優れた功績をあげられた方々を讃える令和3年度「徳島県表彰式」が6月11日にJR ホテルクレメント徳島で行われ、徳島県剣道連盟副会長の西谷肇一氏が教育・文化の分野における顕著な功績が認められ、「徳島県表彰」を受賞されました。

◇令和3年度徳島県表彰受賞者（教育・文化）



徳島県剣道連盟

副会長 西 谷 肇 一 氏

多年にわたり、徳島県剣道連盟理事長等として、スポーツの振興に貢献された功績が認められ、栄えある「徳島県表彰」を受賞されました。



トピックス

公益財団法人徳島県スポーツ協会新体制発足式

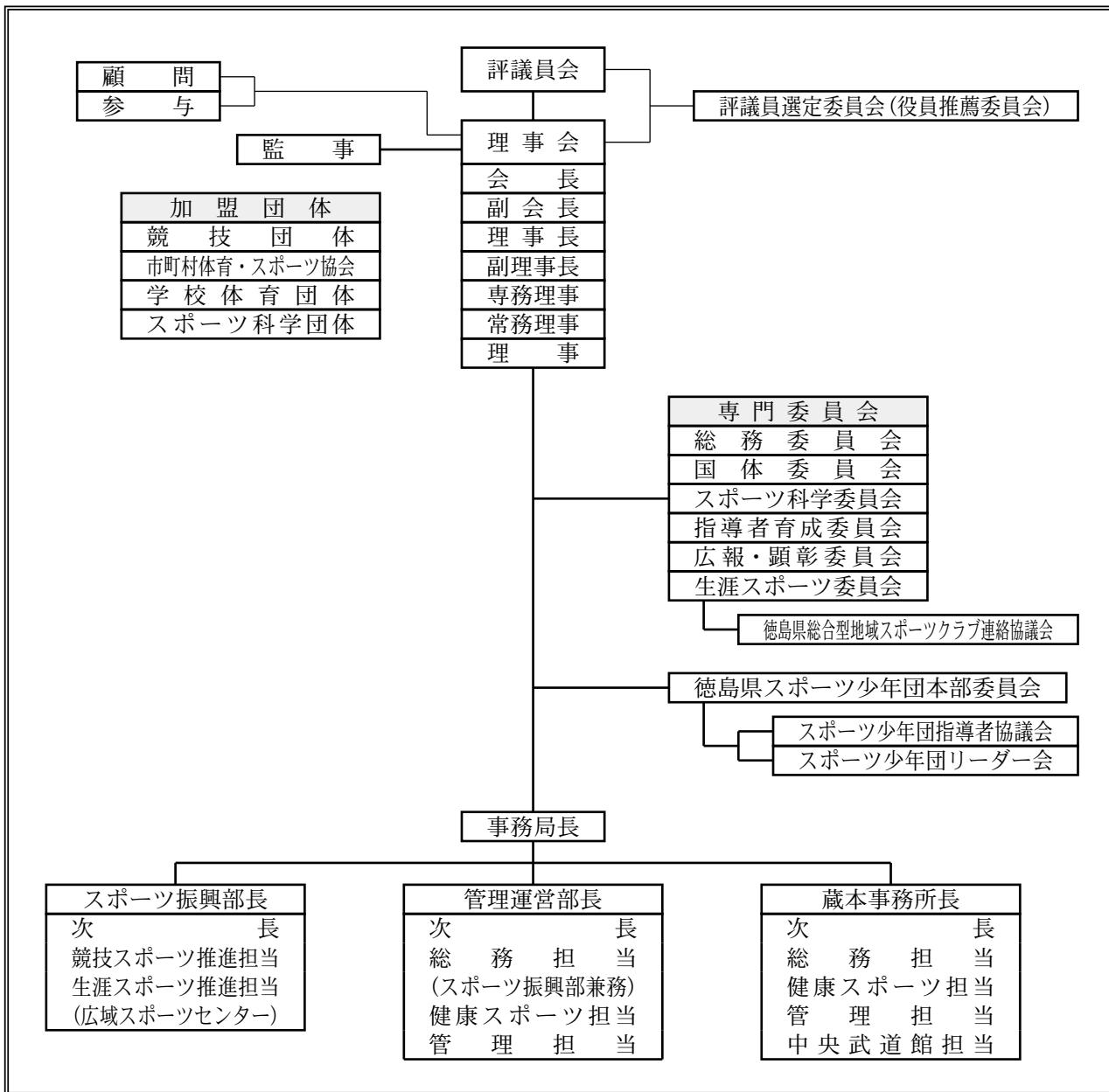
令和3年4月1日、公益財団法人徳島県スポーツ協会と一般財団法人徳島県スポーツ振興財団が統合した、新たな公益財団法人徳島県スポーツ協会の発足式がアミノバリューホールで行われました。発足式に先立ち、事務局が入る同ホール3階の事務室前で看板を設置しました。また、新体制発足式には、御来賓はじめ多数の関係者の方々の御出席を賜りました。

これまで公益財団法人徳島県スポーツ協会は、競技団体と連携した競技力の向上を主とした本県競技スポーツの振興と、スポーツ少年団を通して青少年の健全な育成に取り組んで参りました。一方の一般財団法人徳島県スポーツ振興財団は、県立スポーツ施設の運営管理により、安全で快適なスポーツ環境の提供と、総合型地域スポーツクラブへの活動支援や健康スポーツ教室の実施などの生涯スポーツの振興に努めて参りました。

こうした両団体が担ってきた事業を一元化し、さらなる徳島県の競技力向上、生涯スポーツの振興と県民生活の活性化に今後も尽力して参ります。



新体制組織図



連絡先

施設名	部署	場所	業務内容	TEL	FAX
鳴門・大塚スポーツパーク	管理運営部	アミノバリューホール 1階	施設管理・利用関係	TEL 088-685-3131	FAX 088-685-3132
		アミノバリューホール 2階	国体派遣・指導者資格・ スポーツ少年団関係	TEL 088-684-3660	FAX 088-684-3661
	スポーツ振興部	アミノバリューホール 3階	総務・スポーツ 安全保険関係 生涯スポーツ・広域ス ポーツセンター関係	TEL 088-685-4021	FAX 088-685-4022
むつみパーク蔵本	蔵本事務所	野球場 1階	施設管理・利用関係	TEL 088-631-7549	FAX 088-631-7175
中央武道館	蔵本事務所	武道館 1階	施設管理・利用関係	TEL 088-652-1831	FAX 088-679-6760

徳島県スポーツコミッショングが発足しました

徳島県は、県内のスポーツ資源や観光資源を活かし、スポーツ大会やスポーツ関連イベント等の誘致、スポーツツーリズムの推進等に官民一体となって取り組み、交流人口の拡大等による地域の活性化を図るため、令和2年8月に「徳島県スポーツコミッショング」を設立し、徳島県スポーツ協会がその事務局の一端を担っています。

当コミッショングでは、WITHコロナ時代における安全・安心なスポーツ大会や合宿の実施・受け入れに関するノウハウを蓄積するため、昨年度末に県内競技団体による「モニター合宿」を実施しました。

モニター合宿の実施に当たっては、専門家のアドバイスに基づき「新型コロナウイルス感染防止対策マニュアル」を作成するとともに、参加者には2週間前から「体調管理チェックシート」の作成を依頼するなど、事前準備を整えました。

マニュアルでは事前準備、移動、練習、宿泊の場面ごとに感染防止対策の注意点を示し、それに基づいた行動を心掛けた結果、終了後の参加者アンケートでは、各場面においてフィジカルディスタンスやマスク着用、手洗い、換気等を徹底したため、安心できたとの声が大半でした。

一方で、休憩時に選手が密になったり、換気が不十分な場面が見受けられたというように対策を不安視する声があるなど、改善点を見出すこともできました。

また、モニター合宿と併せて、練習施設・宿泊施設の受け入れ側向けの講習会も実施し、専門家による実地での指導を仰ぎました。

専門家からは、コロナ対策は「どこまでやれば良い」の基準ではなく、無理のない範囲で、継続できることをすること、また体調が優れないときには休める雰囲気づくりが必要といったアドバイスをいただきました。

変異株の出現等、新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況は刻々と変化していますが、当コミッショングでは、モニター合宿等の成果を活用するとともに、サーモグラフィカメラ等の感染症対策支援物品の貸出を行うなど、コロナ禍においても安心して徳島県でスポーツ大会や合宿を実施していただけるよう取り組みます。

また、今後はスポーツ合宿の助成制度を創設するとともに、ホームページを活用して県内スポーツ施設やスポーツイベントの情報発信を行い、スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致に努めます。

〈モニター合宿の様子〉



↑ フィジカルディスタンスの確保



↑ 各所に消毒液、蓋つきゴミ箱を設置

総合型地域スポーツクラブをサポート !!

総合型地域スポーツクラブとは、地域住民が主体となって「いつでも」「誰でも」「世代をこえて」様々なスポーツを楽しむことができる環境づくりを目指し、規約や会則が整えられ、活動状況や予算決算等が公開された公益的な非営利の活動組織です。

地域住民の皆さんのお手伝いによって、地域の活性化やさまざまな課題を解決する役割を担える団体として定着していくことが期待されています。

徳島県内には、36の総合型地域スポーツクラブがあります。本協会では、各クラブをサポートし、更なる生涯スポーツの振興に寄与します。



市町村名	No.	クラブ名	連絡先（電話）
徳島市	①	NPO法人 徳島スポーツクラブ・カバロス	088-652-2236
	②	えのみや睦会	088-668-0167
	③	NPO法人 ひょうたん島クラブ	088-655-5310
鳴門市	④	一般社団法人NICE	080-3928-8679
	⑤	NARUTO総合型スポーツクラブ	088-683-6878
小松島市	⑥	NPO法人 みなと小松島スポーツクラブ	0885-38-1713
阿南市	⑦	Rexなかがわ	0884-42-0390
	⑧	サンアリーナスポーツクラブ	0884-22-2300
	⑨	スポーツクラブ はーぶな長生	090-3460-3409
吉野川市	⑩	吉野川スポーツクラブ	0883-25-4976
	⑪	おえっこスポーツクラブ	0883-22-2444
阿波市	⑫	あわスポーツクラブ	090-4503-2485
	⑬	あわ遊くらぶ	088-695-5055
	⑭	NPO法人 AWAにじいろクラブ	080-2981-7914
美馬市	⑮	NPO法人 うだつコミュニティースポーツクラブ	0883-52-3113
	⑯	スポーツクラブ美馬	0883-63-3422
	⑰	あなぶきスポーツクラブ	0883-53-8888
	⑱	AMEMBO	0883-55-2105

市町村名	No.	クラブ名	連絡先（電話）
美馬市	19	木屋平スポーツクラブ	090-4780-0953
三好市	20	いけだスポーツクラブ	0883-72-5755
勝浦町	21	NPO法人 K-Friends	0885-42-3671
佐那河内村	22	さなごうちスポーツクラブ	088-679-2817
石井町	23	いしいスポーツクラブ	088-674-3081
	24	徳島RAPAZスポーツクラブ	090-7625-3333
神山町	25	神山町スポーツクラブ	088-676-1522
那賀町	26	那賀よしかず	0884-62-1300
美波町	27	ゆきスポーツクラブ	0884-78-0201
	28	スポーツネットワークひわさ夢くらぶ	0884-77-3001
海陽町	29	NPO法人 海陽愛いクラブ	0884-73-3960
松茂町	30	松茂スポーツクラブ	088-699-5744
北島町	31	北島スポーツクラブ	088-698-9812
藍住町	32	NPO法人 あいづみスポーツクラブ	088-692-5000
板野町	33	板野びよん太スポーツクラブ	088-635-4828
上板町	34	上板ふれあいクラブ	088-679-7788
つるぎ町	35	くらぶつるぎっこ	0883-62-2331
東みよし町	36	おおくすクラブ	090-3988-9085

徳島県広域スポーツセンターでは、誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の構築を目指し、「総合型地域スポーツクラブ」の設立・育成をサポートします。

※2021年3月現在

【総合型地域スポーツクラブについてのお問い合わせ先】

〒772-0017 鳴門市撫養町立岩字四枚 61 番地 鳴門・大塚スポーツパーク内

TEL : 088-685-4021 FAX : 088-685-4022 E-mail : kouiki@awa-spo.net

スポーツコーディネーターが増えました!!

【スポーツコーディネーター活用事業とは】

県民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、スポーツを通じて県民の元気を創造する「スポーツ王国とくしま」の推進に向け、「国体順位の向上」や「生涯スポーツの普及発展」を目標にスポーツコーディネーターを派遣する事業です。

スポーツコーディネーターには、「競技力向上担当」と「医科学サポート担当」がありますが、今年度新たに「競技力向上担当」が1名加入しました。

競技力向上担当

野 田 翼

専門競技 アーチェリー

R 3年度～在籍



〈アーチェリー競技について〉

アーチェリーは弓を用いて決まった距離の的に矢を当てる競技です。

メイン競技はターゲット競技といわれ主に70Mで72射の合計点を競います。他には山の中で行うフィールド競技、室内で行うインドア競技などの様々な競技があります。競技の種類の多さと高い身体能力を必要としないことから幅広い年代の人々が楽しめるスポーツです。

アーチェリーは弓を引き、矢を放つという単純な動作を繰り返すシンプルな競技のため運動が苦手な方でも楽しんでもらえます。また、激しく体を動かすこともないため怪我も少なく競技生命が長いので生涯スポーツとしても楽しめます。

実はアーチェリーはパラリンピック発祥の競技ともいわれ、さまざまな障害に対応できるスポーツです。アーチェリーの素晴らしいところは子どもやお年寄り、障害のある方が区別されず同じ土俵でプレイし競い合うことができます。

徳島県でこの素晴らしいアーチェリーを普及し発展させられるように頑張ります。どうぞよろしくお願ひ致します。



(公財)徳島県スポーツ協会では、加盟競技団体及び学校関係機関を対象に、運動能力やパフォーマンスを高める指導やスポーツ障害等に関する専門知識を持ったスポーツコーディネーターを派遣し、本県の競技スポーツの推進と競技成績の向上を図るため、スポーツコーディネーター活用事業を実施しています。スポーツコーディネーター活用事業に興味のある方は、ホームページをご覧ください。

<https://tokushima-sports.or.jp/>

加盟団体だより ～みんな、頑張っています～

徳島県ハンドボール協会

本協会は、設立以来各種大会の主催又は共催・後援を行うことにより、県内におけるハンドボール競技の普及と発展、競技力の向上に努めてまいりました。この間皆様方には、本協会の活動に対しまして御理解と御協力、御支援をいただき厚く感謝申し上げます。

これまで、全国高等学校総合体育大会(1998)、全国高等学校選抜大会(2007－2009)、全日本実業団選手権大会(2010)、全日本学生選手権大会(2016)等各カテゴリーの主要な全国大会を定期的に開催し、県内競技者に高いレベルの試合を観る機会を創出してきました。

また、先ほど閉幕しました東京2020オリンピックでは、ドイツ男子ハンドボール代表チームが鳴門アミノバリューホールにおいて事前キャンプを実施しました。新型コロナウィルス感染症による各種対策から練習見学や選手とふれあう機会は制限され、県内関係者には少し淋しい思いもありましたが、2018年にはアスティとくしまにおいてドイツ代表と日本代表との国際試合の開催を実現しており、世界トップレベルの素晴らしいプレーに満員の観客は魅了されていました。

これら各種大会等の開催により競技の普及に努めてまいりましたが、まだまだ他の都道府県に比べると競技人口が少ないのが実態です。解決策の一つとして、ジュニア世代からハンドボールに興味を持ち選手として活躍してもらえる場の構築が必要と考え、小学生を対象としたクラブチームの活動に力を入れています。

また、これまで唯一全国規模の大会を開催できていなかったジュニア世代について、今年度より3年連続でJOCジュニアオリンピックカップ大会を開催とともに、2023年度には全国中学校大会の開催も予定しています。両大会の開催によりジュニア世代におけるハンドボールへの興味向上につながればと考えています。

新型コロナウィルス感染症の拡大により、昨年度は多くの大会が中止を余儀なくされました。今年度も先行き不透明な状況ではありますが、協会役員一丸となって競技の普及と発展、競技力向上に努めてまいりますので、今後もお力添えをよろしくお願いいたします。



加盟団体だより ～みんな、頑張っています～

徳島県カヌー協会

徳島県カヌー協会は、カヌーの普及発展と競技力向上を図り、県民の心身の健全な発達に寄与することを目的に設立されました。

近年では、6月から9月頃にかけてカヌー教室を開催し、主に小学生を中心として気楽にカヌーを体験いただいております。継続して参加してくれる子どもも徐々に増えており、少しづつではありますが普及が図れているのではと思います。

特に今年度は、徳島県や那賀町とともに東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けたドイツカヌー代表チーム及びドイツパラカヌー代表チームの事前キャンプを受け入れました。コロナ禍により積極的な交流を行うことは出来ませんでしたが、公開練習では多くの方々に応援にきていただきました。感染対策上、選手等との接触は出来ず距離をとった中での応援となりましたが、ドイツ国旗を振ると手を振り返してくれたり、「アリガト」などの日本語で対応してくれるなど、応援はしっかりとドイツチームに届いたと確信しています。



オリンピックでは金・銀・銅メダルをそれぞれ1つずつ獲得され、とても嬉しく思っていますし、パラリンピックでもメダルを獲得できるよう期待しています。

さらに来年5月には、ワールドマスターズゲームズ2021関西カヌースラローム競技が那賀町で実施されるなど、改めて「カヌー」というスポーツを再認識できるチャンスが多くありますので、カヌー人口の増加、底辺拡大に向けた取り組みを継続していきたいと思っています。

このような活動の中から、少しでも競技の道に進み、オリンピックや国体を目指すような子どもたちが出てくることを期待しています。当協会においても、指導者の確保や競技を継続しやすい体制の構築など課題は多くありますが、協会員が一丸となってカヌーを推進できるように取り組んでいきたいと思います。



加盟団体だより ～みんな、頑張っています～

徳島県バトン協会

当協会は、平成15年3月に設立、翌16年5月に仮加盟からスタートさせて頂きました。

活動内容の前に、バントワーリングという芸術スポーツについて少し紹介します。徳島に於いては未だ認知度の低いマイナースポーツのくくりではあります、現在の形態のバトンはアメリカ発祥とされ、1978年に世界バントワーリング連合が発足し、日本を含め各国が普及に力を入れ世界的な広がりを見せ、今日に至っています。私自身も大学卒業の年に、関西学生バトン連盟の皆さんと共にシンガポール政府招待により現地にバトンの種をまいてきました。



現在のバトンは回す（トワール）技術のみならず、ダンスや体操、バレエの要素もふんだんに取り入れて、バトン独自の空間構成とのマッチングが芸術スポーツといわれる最大の魅力となっています。そして、世界に於いて日本は第13回から第34回までの、実際に21年間、国別総合1位の座をキープしています。今オリンピック競技にバトンがエントリーされていれば、日本は金メダルラッシュ…といったところでしょうか。只今、県も、支部も、日本も世界連合も、オリンピックへの正式種目参加を目指として努力を続けているところです。しかし、なかなか道は陥しく、まずは「地元の皆様方にもっとバトンを知って頂く事」を第一に考え、普及に尽力しています。

そこで県バトン協会の活動として、毎年のバトン技能ライセンス講習会と検定コンテスト、更に世界チャンピオンを招いてのクリニックの開催をしています。また、各団体に於いては地域イベントへの参加や県内マーチング連盟とのフェスティバル参加（これは東四国国体以来続いている）等々が主に挙げられます。

今後の課題としましては、競技人口の拡大です。特に徳島県には学校にバトンクラブがありません。幼稚園、小学校、中学校、高校、大学と一校も存在しないのは、恐らく都道府県の中では、徳島だけではないかと思われます。現に、幕張メッセで開催されているバントワーリング全国大会に、学校バトンの部でのエントリーは当県からは一度もありません。私学が少ないというのもあるかと思われますが、やはり学校教育の場で何らかの形態でスポーツバトンを知って頂く事が、とても大きな広がりに繋がると思います。当協会もテコ入れをと、まずは指導者の養成に力を入れる事から、遅まきながら取り組んで参ります。



今後共、御指南、御教示下さいます様、宜しく御願い申し上げます。

文責 徳島県バトン協会理事長 正木 香都子

NEWS：前出の世界チャンピオンが率いるライトバトンチームのパフォーマンスが、東京パラリンピック開会式にて披露されました！



総合型地域スポーツクラブだより

誰でも いつでも どこでも

徳島 RAPAZ スポーツクラブ

本クラブは、徳島県を中心としてスポーツを通じてあらゆる世代の地域住民に対し、心身の発育と健康増進・保持の一役を担いながら、フットボール（サッカー、フットサル）をはじめ、あらゆるスポーツをスポーツ文化、生涯スポーツとして普及・発展させ、各種活動を通じて地域のコミュニケーションを図ると同時に、より地域経済の発展に寄与し、広く健康増進に貢献することを目的として設立しました。

主な活動内容は、サッカースクール、フットサルスクール、体幹コアトレーニングスクールを実施しています。また、フットサルで身体を動かし、楽しさを知ってもらうために本クラブ主催で試合や大会等も開催しております。今後は、地域の方々との輪を広げていくための取組や、スポーツ系教室・文化系の教室も増やし、『笑顔で楽しく身体を動かし幅広い年齢でのコミュニティ』を構築できるよう取組んで参ります。

地域に密着したスポーツクラブとして更なる発展を目指しながら、指導者の育成・充実に力を入れ、活動種目を増やしていきたいです。

☆活動紹介

○フットサルスクール	…月曜日	アルシスフットサルコートで活動
○サッカースクール	…木曜日	アルシスフットサルコートで活動
○体幹コアトレーニング	…火曜日、土曜日	アルシスフットサルコートで活動



※サッカースクール



※フットサル試合



※体幹コアトレーニング

少年団だより

四国ブロックスポーツ少年大会に参加して ～たくさん学んだ一日～

石井リーダースポーツ少年団 高木愛心

私は、四国ブロックスポーツ少年大会で愛媛県に行って人と触れ合う大切さを学びました。今回はコロナ禍でしたがマスクや小まめに消毒などをして安全に楽しむ事が出来ました。まず、四国中央市から移動する為に他県の子が乗っているバスに乗りました。まだこの時は緊張で胸が一杯でした。モンベルアウトドアオアシス石鎚に着きチームに分かれてプログラムが始まりました。レクリエーションで緊張がほぐれて素の自分を出せて楽しかったと思いました。クライミングとボルダリング体験をしました。たくさんの人と触れ合う中でクライミングやボルダリングの大変を学びました。大ホールでみんなと昼食を食べた後、移動をして待ちに待った乗馬体験でした。天候に恵まれず馬に乗る事は出来ませんでしたが、馬に関する事とエサやり体験が出来ました。ここでもまた人に教わる大切さなどを学び、今回参加できて良かったと思いました。天候に恵まれていたら乗馬体験が出来ていたのになーと少し残念な気持ちもありましたが、心から楽しい一日だったなと思いました。次の機会にも参加したいと思います。有難うございました。



少年団だより

令和3年度四国ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会 兼 第43回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 四国予選会に参加して

大津西スポーツ少年団 監督 東 芳 昇

この大会は、令和3年6月26日（土）・27日（日）の日程で、四国4県、第1位、第2位の8チームが参加のもと徳島県で開催されました。

私達、大津西スポーツ少年団は、「第41回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・徳島県大会」



で第3位、「第62回徳島新聞社こども野球のつどい」で準優勝し、徳島県1位代表として交

流大会四国予選に参加する権利を得ることが出来ました。

大会初日【6月26日（土）】は開会式が行われ、徳島県代表として、大津西スポーツ少年団キャプテン 生藤 大侍が選手宣誓を務めました。初めての選手宣誓を無事に終えることができ、安堵しました。そして、コロナ禍で多くの大会が中止となり、練習でさえも限られた時間でしか行えなかった中、部員・指導者・保護者までもが、自分たちの野球が出来るのだろうか…と、楽しみよりプレッシャーが大きくのしかかってきました。

開会式後、土成緑の丘スポーツ公園に移動し、高知県2位代表・野市ファイターズと一回戦を戦いました。県大会とは違い、県外チームとの対戦。見たことのないピッチングで得点することが出来ず、守ることに手が一杯でした。試合が動いたのは6回裏。大津西の攻撃で2点先制し、守り抜き、0-2で勝つことが出来ました。

大会2日目【6月27日（日）】は、阿波市民球場で香川県1位代表・多肥ハリケーンと対戦しました。昨日よりもっと強いチームというプレッシャーがのしかかり、すごく緊張していました。お互い点の取り合いで粘りましたが、5-6でサヨナラ負けとなってしまい、第3位という結果となりました。

決勝後にある閉会式の為、私達は多肥ハリケーンと高知県1位代表・旭スポーツ少年団の決勝を観ていました。沈んでいた部員達も、次第に目を輝かせ、「○番の子、すごい守備うまいな～」「○番の子、すごい粘





るな～」と、他チームの良いところを勉強していました。決勝戦も大接戦の中、4－5で多肥ハリケンが優勝しました。

交流大会四国予選の参加に際し、多くの関係各位の皆様よりご支援、ご協力を頂きました事は、大きな励みであり、感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の大会で得た貴重な経験は、私達にとってすべてがプラスとなりました。大津西スポーツ少年団はこの経験をいかし、更なる技術の向上と教育を図り、これからも躍進して参りたいと思います。



少年団だより

令和3年度四国ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会 兼 第43回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 四国予選会に参加して

横見クラブ 監督 玉井 葵



6月26日、27日に阿波市民球場等で開催されました。四国各県から2チームずつ参加する本大会において、我々横見クラブは徳島県2位チームとして参加させていただきました。

26日は、開会式に参加した会場の阿波市民球場で高知県1位チームの『旭スポーツ少年団』と対戦しました。

どちらの攻撃力が勝るかという試合展開になり手に汗握りました。同球場は、今年開催の『第62回徳島新聞社こども野球のつどい』準々決勝で劇的なサヨナラ勝ちを収めた縁起の良い球場だっただけに、期待が膨らみました。惜しくも9対12で競り負けました。

29日は交流戦を行い、愛媛県1位チームの『玉津クラブ』と対戦し、9対5で勝つことができました。

キャプテンに試合の感想を聞いたところ、「今年に入って初めての県外チームとの対戦は緊張した。もう一度強豪チームと勝負して、一つでも多く勝ち上がりたい。」と言っていました。

新型コロナウイルス感染症が猛威を奮う昨今、県を超える移動が制限される中、県外の強豪チームと対戦できたことは、選手にとって稀有で貴重な経験になったと思います。

一方で、この感染症の影響は大会の運営側にも直撃したことだと思います。その中で工夫をこらして無事に開催されたことに敬意を示しますとともに、この場をお借りして多大な謝意をお伝え致します。



ソーシャルディスタンス、3密、マスク等々、ニューノーマルと言われる生活様式が当たり前になりつつあり、今後のスポーツ少年団の活動内容にも留意しながら進めていく必要性を強く感じた大会になりました。

少年団だより

2020 日独スポーツ少年団ユースキャンプ (2021 年実施) に参加して

東京 2020 オリンピック開催期間中の 2021 年 8 月 2 日(月)～8 月 5 日(木)の 4 日間、日独両国のスポーツ少年団の青少年交流を通じて、オリンピックの理念の特別な効果や国際交流の体験、スポーツに対する共通理解を深めることで、言語や文化を超えた両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的に、日独スポーツ少年団ユースキャンプがオンラインにて開催されました。

徳島県スポーツ少年団リーダー会からは、4 名のリーダーが参加しましたので、その感想文を掲載します。

岡 本 寧々 (さなごうちスポーツ少年団)

今回のユースキャンプがドイツ団との初めての交流でした。オンラインということもあり、きちんとした意思疎通ができるかなどの不安が多少ありました。通訳の方が間に入ってくれたり、ドイツ団の方も画面越しにリアクションしてくれたりしたので安心して楽しく参加することができました。また、ドイツ団の方々がドイツの様々な文化や地域・暮らしなどについて詳しく教えてくださったので、もっとドイツについて学んでみたいと思うとともに、実際にドイツに行って知識を増やしたり交流したりしたいと思いました。今回のユースキャンプで得た知識や経験を様々な人に伝えていけるように、今後もいろいろな活動に積極的に参加できるようにしたいと思います。

木 下 千尋 (さなごうちスポーツ少年団)

私はグループ 3 で日本団 3 名、ドイツ団 6 名で 4 日間活動しました。グループワークや「For the Future」についてのディスカッションを通じて日本団とドイツ団、お互いが持っている意見などを出し合い交流したり、意見を深め合ったりすることができました。私のグループでは、最初の挨拶や何かを決めたときなどにいう「Eins · Zwei · Drei チームサン」という合言葉を作っていました。オンラインでもこのようにドイツの方たちと交流ができるとても嬉しかったです。また、ディスカッションにおいても質問し合ったり、みんなが意見を出していたりしていい雰囲気で活動でき、自分の知らないことや持っていたいなかった考えを学べてすごくいい経験になりました。ヨハネス選手やウド・ガッテンレナーさんの大変貴重なお話も聞けて参加して本当に良かったなと感じました。4 日間、ユースキャンプで得た知識をこれから活用して未来へつなげていければいいなと思います。

田 中 遼 人 (石井リーダースポーツ少年団)

今回のユースキャンプがオンラインで開催されると聞いたとき残念だという気持ちと同時に、このような状況でもオンラインで開催してくださるということがとても嬉しかったです。交流のメインテーマ「Creating our future together : Sustainability of Sport」に沿いながら主にディスカッションで交流しました。自分の考えがうまく相手に伝わるのかという不安もありながら交流が始まりましたが通訳の方、指導者の方のサポートもあり充実したディスカッションができたと思います。特にSDGsについての話し合いでは日本とドイツの違いがよくわかりました。ドイツでは大学生主導で「未来のための金曜日運動」などが行われていると聞き、もっと関心を持つべきだなと感じさせられました。今回の交流で世界の情勢に興味を持ち自分の意見をしっかり持つということの重要性を改めて感じることができました。今回の経験を今後のスポーツ少年団活動や私生活に生かしていくべきだと感じました。

新 居 明 果 (石井リーダースポーツ少年団)

最初、日独ユースキャンプがオンラインで開催されるかもしれないとわかった時は参加するか迷いました。国を超えてオンラインで交流できるか不安になったからです。でも、班別活動でその不安は無くなりました。2日目から班が変わって、また新しい班で自己紹介した私を笑顔で受け入れてくれたり、ディスカッションでは直接名指しで話しかけてくれたりしました。ディスカッションではドイツの団員から刺激を受け、私もしっかりととした考えをもって話せるように頑張りたいと思いました。今回の日独ユースキャンプでは自分を成長させることができたので、参加して本当に良かったと思いました。



第76回国民体育大会(三重県)開催中止

令和3年9月～10月に開催予定であった第76回国民体育大会「三重とこわか国体」及び第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」は、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大により、開催中止が決定されました。昨年の鹿児島国体に続き、2年連続での開催中止となり、日々努力されている選手・指導者、また関係者の皆様にとって非常に残念なことと存じます。

今後も、感染防止対策を実施しながら、令和4年9月～10月開催予定の「いちご一会とちぎ国体」での天皇杯30位台を目指し、各競技団体の競技力向上に向け、しっかりとサポートに努めて参ります。



国民体育大会第42回四国ブロック大会

国民体育大会第42回四国ブロック大会が、徳島県を中心とする各会場にて開催されましたが、日本スポーツ協会による国体の開催中止決定により、ブロック大会開催途中での中止となりました。

第76回国民体育大会「三重とこわか国体」の出場権を獲得していた競技は以下の31競技です。四国ブロックの突破は、一昨年の31種目から2種目増え33種目でした。

31競技（県単競技含む）

陸上競技・水泳・サッカー・テニス・ボート・バレーボール・体操・レスリング・セーリング・ウエイトリフティング・自転車競技・ソフトテニス・卓球・軟式野球・相撲・馬術・フェンシング・柔道・バドミントン・弓道・ライフル射撃・剣道・ラグビーフットボール・スポーツクライミング・カヌー・空手道・クレー射撃・なぎなた・ボウリング・ゴルフ・トライアスロン

※未開催競技 ホッケー・ボクシング・ハンドボール・卓球・フェンシング・スポーツクライミング



令和3年度における御協賛のお願い

日頃は、本県スポーツの発展につきまして、ひとかたならぬ御支援をいただき深く感謝申し上げます。

公益財団法人徳島県スポーツ協会（以下「県スポーツ協会」という）の事業と運営を財政的に支援することを目的に、贊助会員や寄附金の募集をしております。

毎年、多くの方々や事業所（企業）から積極的な御支援、御協力をいただき、改めて深く感謝申し上げます。

県スポーツ協会におきましては、管理費の縮減に努め、費用対効果を十分考慮した事業運営や有限の資源を効果的に活用するなど、今後も努力してまいります。

令和3年度におきましても、本会の趣旨に御賛同いただける方々や事業所（企業）の御支援によりまして、県スポーツ協会の目的とする諸事業が円滑に推進できますよう、皆様方の暖かい御協力をお願いいたします。

令和3年8月31日

徳島県スポーツ協会総務委員長

湯村 雅彦

【個人会員】

1. 会 費 一口 5,000円以上
2. 納入方法 銀行振り込み

◇ 振込依頼書を準備しておりますので、下記まで御連絡ください。

【企業寄附】

1. 寄 附 一口 10,000円以上

2. 納入方法 銀行振り込み

◇ 振込依頼書を準備しておりますので、下記まで御連絡ください。

3. 寄附金の税制優遇について

公益財団法人徳島県スポーツ協会は、法人税法、所得税法、租税特別措置法において認められた「特定公益増進法人」であり、御寄附は税制上の優遇措置が受けられる免税募金となります。

問合先 公益財団法人徳島県スポーツ協会事務局 (TEL 088-684-3660)

〒772-0017 鳴門市撫養町立岩字四枚 61番地 鳴門・大塚スポーツパーク内

令和3年8月31日 発行所 / 公益財団法人徳島県スポーツ協会

〒772-0017 鳴門市撫養町立岩字四枚 61番地

鳴門・大塚スポーツパーク内

TEL 088-684-3660 FAX 088-684-3661

E-Mail tokushimaken@japan-sports.or.jp

<https://tokushima-sports.or.jp/>

グランドはいつもあなたの お役にたっています

お急ぎの印刷物が必要で困っている方のために
当社は日・祝も操業可能です。
お気軽にお問い合わせください。

グランド 印刷株式会社

URL : <https://www.grand-pt.co.jp/>

本 社 徳島県徳島市万代町6丁目20-15
TEL (088) 622-8448 FAX622-8418
E-mail : honsha@grand-pt.co.jp

石井工場 徳島県名西郡石井町藍畠字第十159
TEL (088) 675-0836 FAX675-0777
デジタルプラザ徳島
徳島県徳島市万代町6丁目20-10
TEL (088) 611-2080 FAX611-2080

徳島県内のすべてがそろう
"電子書籍"ポータルサイト「トクシマイーブックス」



tokushima ebooks

多くの
自治体が
掲載中！

徳島県内の冊子をすべてデジタルブック化し、
「いつでも」「誰でも」「どこからでも」
見られるようにしよう！

<https://www.tokushima-ebooks.jp> ➔

県内市町村、団体の印刷物が、インターネット・スマホから見られます。閲覧無料、ぜひご覧ください。

tokushima ebooks 実行委員会

(グランド印刷株式会社内 TEL 770-0941 徳島市万代町6丁目20-15
TEL 088-622-8448 / FAX 088-622-8418)

本冊子の電子書籍版も掲載しています。

小さな掛け
大きな補償

スポーツ安全保険[®]

文化活動やボランティア活動等もご加入できます



ご加入は
インターネット
でのお手続きが
便利です。

[引受幹事保険会社]

東京海上日動火災保険株式会社

[共同引受保険会社(2021年4月予定)]

あいおいニッセイ同和／共栄火災／損保ジャパン／大同火災／
東京海上日動／日新火災／三井住友海上／AIG損保

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。
<https://www.sportsanzen.org>

スポーツ安全保険

検索



地域のみなさまとともに――

日頃は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

わたくしども **とくぎん** は、

「地域やお客さまとともに成長し続ける銀行」を目指します。

T 徳島大正銀行

T トモニホールディングス



飲んでカラダを バリアする。*

この季節、あなたのカラダに必要なのは、

乳酸菌B240+電解質。

<ボディメンテ>は、この2つの力で

カラダをバリアする新発想のドリンク。

飲み続けることで、

あなたの体調管理をサポートします。

さあ、今日からメンテナンスを始めませんか。



+



BODY MAINTÉ
CONDITIONING DRINK

ボディメンテ



*「バリアする」とは、コンディショニングに欠かせない成分が、いつもと変わらない体調と自分らしさを守ることです。



Otsuka 大塚製薬

お客様相談室 TEL:0120-550708 ボディメンテ公式サイト:<https://www.otsuka.co.jp/bdm/>